

## ●温暖化対策の状況

政府においては、温室効果ガスの総排出量を2008年から2012年の期間に基準年（1990年）から6%削減を約束する京都議定書を実践に達成するために必要な措置を定める京都議定書目標達成計画（※）を策定し、これまで地球温暖化対策に取り組んできており、一定の成果をあげてきた。

京都議定書目標達成計画は2012年度をもって計画期間が終了するため、現在、政府において、東日本大震災や東電福島原発事故を踏まえ、2013年以降の地球温暖化対策に関する計画の検討を行っており、年内に同計画が決定される予定。

なお、同計画においては、各個別対策に係るCO2削減目標量が盛り込まれる予定。

※京都議定書目標達成計画（鉄道に関する対策）： 公共交通機関の利用促進、鉄道のエネルギー消費効率の向上、鉄道貨物へのモーダルシフト

## ●スケジュール(予定)

### 政府全体の動き

- 6/29 第11回エネルギー・環境会議  
→原発依存度を基準に3つのエネルギー・環境戦略の選択肢を提示  
(①ゼロシナリオ ②15シナリオ ③20~25シナリオ)
- 7/2~7/31 選択肢に係るパブリックコメント(国民的議論)
- 8月 「革新的エネルギー・環境戦略」  
→2020年と30年の温室効果ガス削減量の**大枠**を示す。

地球温暖化対策の  
詳細について検討

各省に対し、個別の  
対策検討の発注

※各部門毎に削減量  
を定められて発注  
される見込。

反映

- 年内 政府の地球温暖化対策のとりまとめ

### 国土交通省の動き

- 4/9 国土交通省の中期的温暖化対策中間とりまとめ

傍聴・情報収集のみ  
(各省との調整なし)

- 7/19 社整審・交政審 第21回環境部会  
→政府全体の動き等の総論について議論

- 8月以降 社整審・交政審環境部会  
→個別の対策・施策等について討議  
※2020年・30年の削減目標量を検討

- 年内目処 社整審・交政審環境部会  
→国土交通省の2013年以降の地球温暖化対策  
(中期的地球温暖化対策)の最終とりまとめ